



市民の木(昭和49年指定)

須磨区白川字堂ノ東482 旧道沿い

神戸の名木指定、兵庫県郷土記念物指定

32 白川の石抱きカヤ

樹種 カヤ

樹齢 約350年 高さ 19m

幹周 5.5m 枝張 15m



兵庫県で第8位のカヤの巨木

- 根元の幹の間に石仏がエノキとともに包みこまれているので、この名で呼ばれている。樹勢は盛んで、平成6年には兵庫県郷土記念物にも指定されている。
- 山伏山神社の入り口のそばにあり、夏にはこの木の下で盆踊りが行われるなど、地域のシンボルとして親しまれている。



市民の木(昭和51年指定)

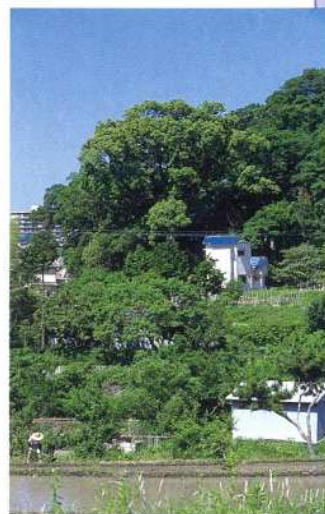
須磨区車字松ヶ原551 車大歳神社境内

33 車大歳神社のクスノキ・カヤ

樹種 クスノキ・カヤ

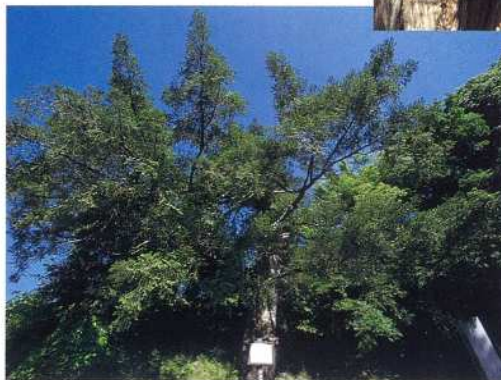
高さ 19m・15m 幹周 6.6m・3.2m

枝張 19m・12m



緑の鮮やかな神社林を形成

- クスノキは本殿右奥の不安定な斜面にある。
- カヤは神社の鳥居の左手前、石積みの上にある。かつては大きく生い茂っていたが、剪定され、樹高が低くなっている。
- クスノキ・カヤとも周囲の樹木と一体となり、緑鮮やかな神社林を形成している。







## 市民の木 (昭和51年指定)

須磨区妙法寺字岡775 明光寺境内

34 明光寺(萩の寺)  
のイチョウ

樹種 イチョウ

高さ 21m 幹周 2.6m

枝張 15m

萩咲く寺の参道脇の  
イチョウ

- 寺の参道を登ると正面にあり、周囲の樹木と混ざりあって枝を高く広げている。
- この寺はまた、萩の寺として親しまれ、シーズンには花を愛でに多くの人々が訪れる。



## 市民の木 (昭和49年指定)

須磨区東須磨1-1 須磨離宮公園内

35 離宮公園の  
クスノキ

樹種 クスノキ

高さ 16m 幹周 4.7m

枝張 15m



## 中門広場いっぱい枝を広げるクスノキの大樹

- 西洋式庭園で知られる須磨離宮公園の中でも、旧武庫離宮の面影を残す中門広場の手前にある大木。
- 遠くから見ると一本の木とは思えないほど、枝を四方八方に伸ばし、こんもりと茂っている。
- クスノキの前にはバラ園もあり、広い公園内は四季折々の自然が楽しめる。



## 市民の木 (昭和51年指定)

須磨区須磨寺町1丁目1-6

36 現光寺の  
シイノキ・イチョウ

樹種 シイノキ・イチョウ

高さ 10m・21m

幹周 2.5m・2.3m

枝張 9m・11m



## 3本のシイノキとイチョウ

- 元々境内にあった3本のシイノキとイチョウが市民の木に指定されている。
- 道路拡幅工事の際にも、伐採を免れている。
- シイノキの主幹には樹木医による治療の跡が見られる。







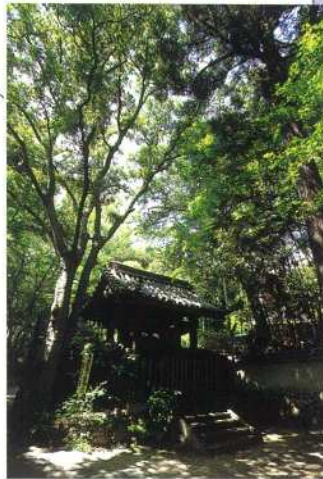
市民の森 (昭和49年指定)

須磨区禅昌寺町2丁目5-1

19 禅昌寺

構成樹種 クスノキ、ムクノキ、ナナメノキ、モミジ、イチョウ、スギ、アラカシ、エノキ、ヒノキ、アオキ、ヒサカキほか

面積 3,700㎡



紅葉の美しいモミジ寺

- 境内にはカエデの老木が多く、紅葉の名所として「モミジ寺」とも呼ばれている。
- 本殿には山が迫り、春は新緑も美しい。



市民の森 (昭和49年指定)

須磨区妙法寺毘沙門山1286

20 妙法寺

構成樹種 クスノキ、アラカシ、スギ、モミジ、コナラ、サルスベリ、ヤマモモ、シイノキ、タイサンボク、ヒラギ、サクラ、イチョウ、ネズミモチ、モチノキ、ムクノキ、ツバキほか

面積 12,000㎡



樹種の多い自然度の高い樹林

- クスノキ、スギなどが高木層を、モミジ、ネズミモチなどが亜高木層を形づくり、さまざまな樹種に富んだ自然度の高い樹林。



市民の森 (昭和49年指定)

須磨区桜木町1～3丁目地先

21 離宮道

構成樹種 クロマツ

面積 1,700㎡



海と公園を結ぶ低木の松並木

- 国道2号から須磨離宮公園の南入り口まで南北に続くクロマツの並木道は、離宮公園へのアプローチ道。
- また海と山とを一本道でつなぐ空間としても大切な意味もっている。
- 総体的に樹木は大きくないが、整備、管理が行き届き、周囲の街並みともよく調和して美しい景観をつくり出している。



市民の森 (昭和49年指定)

須磨区天神町2丁目1-11

22 網敷天満宮

構成樹種 クスノキ、クロガネモチ、ウメ、サカキ、ウバメガシ、クロマツ、エノキ、ツバキ、サンゴジュ、ヒマラヤスギほか

面積 1,400㎡



手入れの行き届いた樹林

- 境内をとり囲むように列植されたクスノキは、車道から見てもボリュームのある樹林相を形成している。
- また、境内には約30種、約130本の梅が植えられ、早春の頃、白や薄白色の花をつけ、人々を楽しませている。
- 樹林の管理状態は良く、枝切りや剪定が施されている。





## 市民の森(昭和49年指定)

須磨区須磨本町1丁目1-45

## 23 諏訪神社

構成樹種 クスノキ、モッコク、ムクノキ、  
エノキ、ネズミモチ、ウバメガシ、  
クロガネモチほか

面積 500㎡



## 小さな社を取り囲む樹木

- クスノキを中心に、境内をとり囲むように樹木が配されている。
- 須磨の地の語源には、すはま すま すま 州浜・隅・栖間など諸説あるが、この諏訪神社のすわがなまったという一説もある。



## 市民の森(昭和49年指定)

須磨区多井畑字宮脇1

## 24 厄除八幡神社

構成樹種 ウバメガシ、アラカシ、  
ヤマモモ、ムクノキ、  
カクレミノ、モチノキ、  
ネズミモチ、トベラ、  
クスギ、コナラ、クロマツ、  
スギ、ヒノキほか

面積 18,800㎡



## 照葉樹林で構成された守護神の森

- 播磨から畿内に入る最初の山を越す途中に設けられた厄神は、疫病が西から進入してくるのを防ぐ畿内の守護神の森であり、ヤマモモ、ヒメユズリハ、クロガネモチ、カクレミノなどの照葉樹林からできている。
- 拝殿横の疫病祭塚には、神木としてクロマツの大木がまつられている。



## 市民の森(昭和49年指定)

須磨区一の谷町8

## 25 須磨浦公園

構成樹種 クロマツ、サクラ、シイノキ、  
モッコク、ヒメユズリハ、  
クロガネモチ、エノキ、  
コナラほか

面積 20,000㎡



## 海に近い松並木と桜の名所

- もとは鉄拐山、鉢伏山を含む山林公園だった。昭和9年、その公園に海浜松原が加えられ、翌年、須磨浦公園として開園。
- 公園内には緑豊かな松林のほか、サクラも多く、春は桜の名所としてにぎわう。
- 公園内には戦いの浜の碑や敦盛塚のほか、芭蕉、子規、虚子などの句碑がある。

